

本 会 記 事

第 6 回プログラミング・シンポジウム

40 年 1 月 12 日午後から 14 日にかけて、伊東 ハ ト
ヤホテルにおいて開催された。出席者 174 名。発表内
容は次のとおりであった。

○12 日午後

実時間処理, IR 等 6 件 発表者 6 名

3 日午前

ALGOL, Compiler 等 6 件 発表者 10 名

午後

数値解析, 音声合成, 自動診断等 6 件 発表者 10 名

4 日午前

モンテカルロ法, 函数近似等 6 件 発表者 7 名

なお 12, 13 両日の夜は, 計算機システム, プログ
ラムシステムについて山内委員長を囲んで, 活潑な自
由討論が行なわれた。

○研究委員会の報告

SC 研究委員会

○1 月例会 (1 月 7 日, 於日本電子工業振興協会)
「貨車操作場の計算機制御」について鉄道技研 東
沼氏が講演し, あわせて自動化の効果について説明し
た。つづいて, その規模, 貨車運行の密度, 速度, プ
ログラムなどにつき質疑があった。さらに, 中村委員
(日電) から文献「Description of the Terminal Air
Traffic Control Laboratory System」につき報告があ
った。最後に大野委員長 (鉄研) から研究報告書作
成につき報告された。出席者 17 名

○2 月例会 (2 月 11 日, 於日本電子工業振興協会)
「労働市場センタのデータ通信システム」の標題の
もとに労働省上野滋氏から労務者の実時間人事管理シ
ステムの問題点とその経過について報告があった。つ
いで研野委員から「Simulation of Information and
Decision Systems in Firm」, 大須賀委員から「Ter-
minal Air Traffic Control and Problems of Sys-
tem Design」につきそれぞれ文献紹介があった。

機械翻訳研究会

1 月例会 (1 月 18 日, 電気試験所, 出席者 27 人)

(1) 計算機による翻訳 (報告, 名古屋大, 大槻説
平)

和文英訳において問題となる点を翻訳実験を通して

調査整理して報告した。さらに, 必要となる意味分析
および助詞の扱いについて述べた。

(2) 和文英訳の実験 (報告, 東大, 野崎昭夫)

和文英訳の翻訳過程を, 数学的モデルに構成した。

この立場より, 理論および実験を整理する。

(3) 人工完全言語系について (報告, 電機大, 中
野道夫)

自然言語が自然発生的なため, 不完全さがある。こ
れを補う人工言語の開拓について述べる。

COBOL 研究会

○(2 月 10 日, 於電気試験所, 出席者 8 名)

1. IBM 7044 COBOL (大駒誠一)

テストプログラムを翻訳してみた。(a) Picture XB
と BX とは, X 9 と B 9 とにみなされた。おそらく
B が報告項目用の字であるためらしい。(b) Move
High-Value To numeric-display-item は an-item
とみなされ '9……' をうつす。computational-item
を指定すると Move Zero とみなす。なお 7070 では
上は '9……9', 下は +9……9 として正しくできる。
文法違反かどうかはわからない。(c) 条件の略記法の
うち, 比較子だけを書いたものはできなかった。(d)
At End や On Size Error に Else をつけることは
できない。文法書 VII-1 では禁止しているが, VII-2 に
は違反した例がでている。なお 705/7080 では書ける
ことになっている。

2. 固有語調査 (大駒誠一)

COBOL-65 (CIB # 4) の固有語をしらべた。合計
304 語=2027 字。最大の語は 20 字。なお As, Filling
は COBOL-60 以後は死語。また Quote はあるが
Quotes という語はない。

3. Univac COBOL 比較表 (松尾昌泰)

III, 1107. 490 について報告した。

○(3 月 18 日, 於電気試験所, 出席者 10 名)

1. MELCOM 1530 COBOL: 中山俊英

外部仕様を簡単に説明した。Occurs に Depending
On が使える。

2. CIB # 5 の比較表: 全員

各社の外部仕様の比較表を ASA で作ったものを検
討した。一般におおまかな記述が多い。もう少しこま
かく比較できるとおもわれる。当委員会の調査資料と
もつきあわせたい。

EDPS 研究会

(3 月 10 日, 於電気試験所, 出席者 7 名)

「MELCOM 1530 のソフトウェアについて」

(中山俊英, 長田好正)

MELCOM 1539 は stored logic の計算機で, その基本的な命令を記憶装置 LOGAND から呼出し, 再書込みなどの elementary な操作だけをする. この LOGAND を組合わせて通常の計算機の命令に相当する LOGRAM を作り, これを通常の basic assembler に相当するシンボル SIA で書く.

その他 IOCS, ARITH などの MACRO をもった SIAS という full autocoder に相当するもの, SIN, COS, MOVE などの LOGAM を持っている. なお, 現在 FORTRAN はほぼ完成, COBOL は8月に完成の予定.

関 西 支 部

○研究会の報告

数値解析研究会 (2 月度例会)

2 月 24 日 (水) 午後 4 時から約 2 時間にわたり, 住友化学大会議室において開催した. 石田喬也氏 (阪大工学部) が「An Approach to a Heuristic Compiler」について報告した. 出席者 21 名.

支部規約改正案打合わせ

2 月 24 日 (金) 午後 6 時半から電子会館において, 関西支部規約改正について打合わせ会をひらいた. 出席者は, 城支部長, 清野, 横山, 牧之内, 万代, 藤川の支部役員 6 名であった. 同支部の規約は一部あいまいな点があるので, 新年度支部総会において, 同規約の改正を決定することになる. なお, 事務局移転の件についても審議された.

会 告

○研究委員会

SC 研究委員会

日時 昭和 40 年 4 月 15 日 (木) 14.00~

場所 日本電子工業振興協会会議室

- 議題 1. 報告書要旨について
2. 文献紹介 大野 豊 (鉄研) 他 2 名
3. 本年度の研究方針について

EDPS 研究会

日時 昭和 40 年 4 月 30 日 (金) 10.00~

場所 未定

- 議題 1. NEAC 2800/3800 アドミラル・モニター
青柳律夫 (日電)
2. UNIVAC 1107 オペレーティング・システム
松尾昌泰 (日本 RR)
3. MELCOM 1530 " 中山俊英 (三菱)

COBOL 研究会

日時 昭和 40 年 4 月 30 日 (金) 14.00~

場所 未定

- 議題 1. オブジェクト比較 大駒誠一 (慶大)
2. CIB #5 (全員)
3. MELCOM 1530 COBOL (三菱)

雑 報

IFAC・東京シンポジウム参加者募集

国際自動制御連盟 (IFAC) では, 既報 (Vol. 5, No. 3 雑報) のとおり, 本年 8 月 25~28 の 4 日間, 「制御系の設計のためのシステム工学」(Systems Engineering for Control System Design) について, 東京シンポジウムを東京国立教育会館で開催します. 参加希望者は, ハガキに「IFAC 東京シンポジウム参加申込み」の見出しのもとに, 住所, 氏名, 勤務先, 所属学会を明記して, 下記申込先に申込用紙を請求のうえ, 5 月 31 日までにお申込みください. なお, 会場の都合で参加をお断りすることがありますが, 参加費 5,000 円 (予稿集代を含む) は申込用紙により正式に申込むときに払込んでください.

〔申込先〕 東京都港区芝琴平町 20 計測会館内

IFAC 東京シンポジウム委員会

電 502-1917